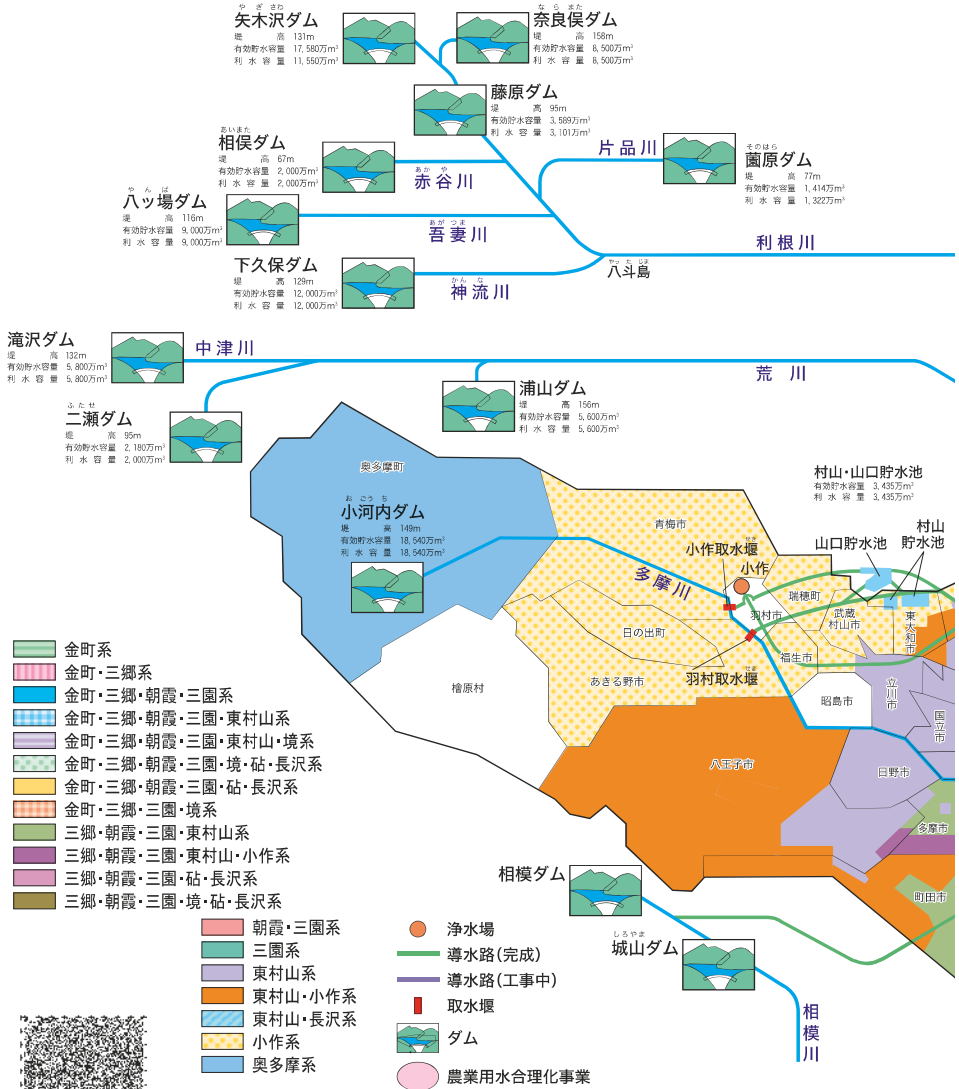


水道水が届くまで

東京の水道水源と浄水場別給水区域

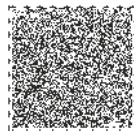
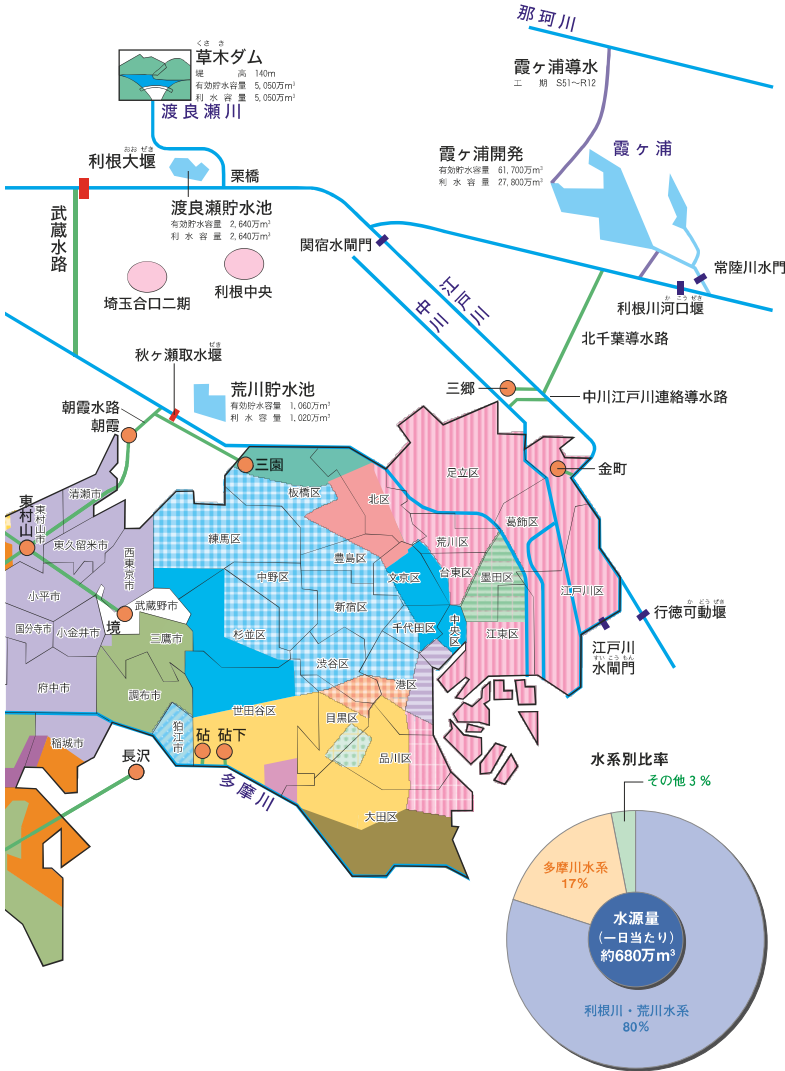


それぞれの給水する区域は工事に伴う運用状況等により変わります。
(令和6年4月1日時点)

東京都の水源地は、ほとんどが河川水なんだ。



水道水が届くまで



水道水が蛇口に届くまで

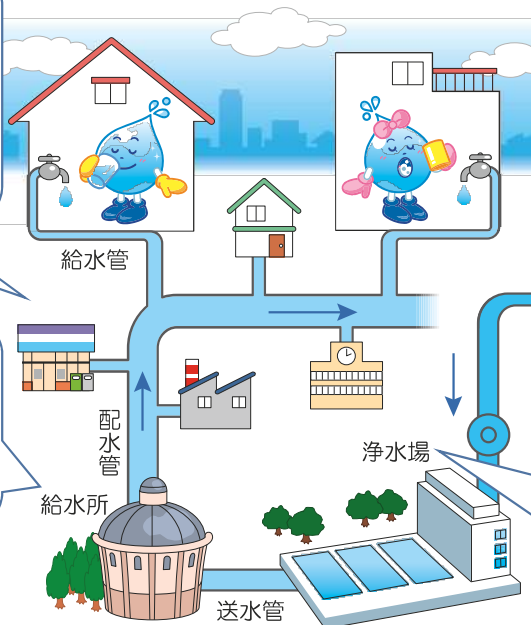
●配水管と給水管

給水所から送り出された水は、配水管を通して皆さんのところへ届きます。

給水所から皆さんの家の前の道路まで通っている管を「配水管」、配水管から分かれて皆さんの蛇口までつながっている管を「給水管」といいます。

●給水所

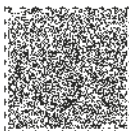
浄水場から送られてきた水は、給水所にある配水池にためて、各家庭に届くようにポンプで送り出します。時間ごとに変わる水の使用量に合わせて、送る水の量や圧力を調節しています。



●水運用センター

ここでは、24 時間体制で貯水池から浄水場、給水所、主な配水管までの水の流れをコントロールしています。

水運用センター監視室 ▶



●水道水源林

森林に降った雨は、落ち葉などが積もった土にしみこんで蓄えられ、少しずつ川に流れ出ます。

多摩川には、小作取水堰、羽村取水堰があります。

水道水源林



ダム

●ダム

いつでも使えるように水をためておきます。大雨や台風するとき、ダムに水をためて川の水量を減らし、洪水を防ぐ役割もあります。

導水路(導水管)

取水塔

しゅすいせき
取水堰

海へ

●浄水場

川から取り入れた水を、凝集沈殿、ろ過及び消毒して、安心して飲める水道水にします。浄水場でつくった水道水は、ポンプで給水所へ送り出します。

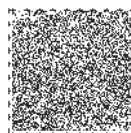
●取水と導水

取水堰で川をせき止め、水を取り入れます。取り入れた水は、導水路(導水管)をとって貯水池や浄水場に入ります。

羽村取水堰 ▶



浄水場や給水所は、震災のときには水を配る災害時給水ステーション(給水拠点)になります。



水道水源林を守っています

水道水は、森に降った雨が貯水池や川、浄水場などを旅して蛇口までやってきます。多摩川上流域に広がる森林「水道水源林」は、東京で暮らす人々のための水を蓄えています。水道局では、水道水源林を約120年にわたって管理し、水を育む豊かな森を守っています。

水道水源林の広がり



水道水源林を守るための取組

いろいろな働きをもつ森ですが、手入れをしないとその働きが弱まってしまう。そのため、水道局では、森の生育状況に応じて計画的に植栽、間伐、枝打などの森林保全作業を行い、健康な森を育てています。

また、都民、企業、大学などさまざまな方とともに森を育てることで、水源地保全の大切さを知っていただく取組も行っています。

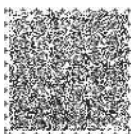
多摩川水源森林隊

多摩川上流域の荒廃が進んでいる民有林を、水源地にふさわしい緑豊かな森に再生するために「多摩川水源森林隊」を設立し、ボランティアの皆さんに森林保全活動をしていただく取組をしています。



▲森林隊の活動（枝打）

民有林の購入



手入れができず、所有者が手放す意向のある民有林を公募により購入する一方、小河内貯水池への影響が特に懸念される民有林を積極的に購入し、水道水源林として適正に管理していく取組を行っています。

水を育む森の働き

1 水を蓄える

森に降った雨は、落ち葉などが積もるふかふかの土を通して、地中深くにゆっくりとしみ込み、地下水として蓄えられます。



森は、川に流れる水の量を調整して洪水や渇水を防いでくれるので、「**緑のダム**」と呼ばれています。

2 水をきれいにする

森に降った雨は、空気中のちりなどで汚れています。森の土は、雨がゆっくりと移動する間に、汚れを取り除いてきれいな水にしてくれます。



3 土砂流出や山崩れを防ぐ

森の木の枝葉や落ち葉がクッションになって、雨の衝撃から土を守っています。

落ち葉が分解されてできるスポンジ状のふかふかの土は、雨水をすばやく吸い込んで地表の土が流れ出るのを防いでくれます。



水源地についてもっと知りたいときは・・・

小河内貯水池

都民の貴重な水源であり、憩いの場としても親しまれています。貯水容量は約1億8,540万 m^3 （東京ドーム約150杯分）で、水道専用の貯水池としては国内最大規模を誇ります。



▲水道水源林と小河内貯水池

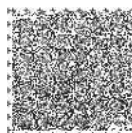
水道水源林ポータルサイト みずふる

水道水源林の魅力を紹介したサイトです。

詳しくは↓



▲多摩川源流部を一望できる柳沢峠ゾーンの展望台



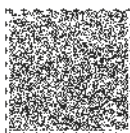
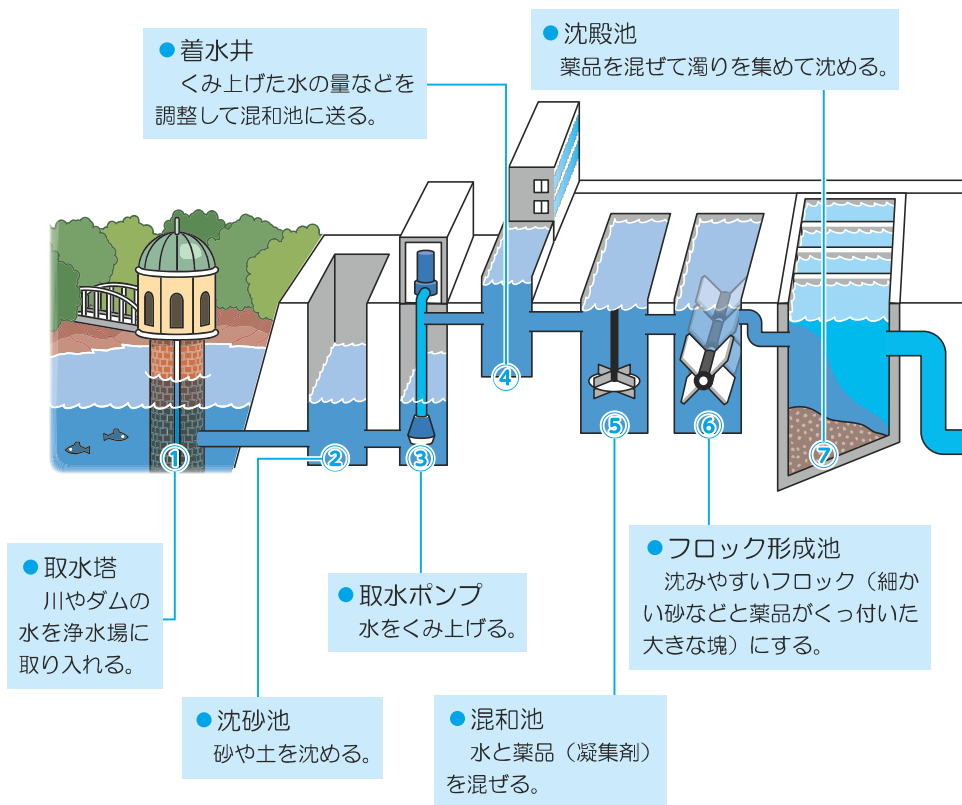
奥多摩 水と緑のふれあい館

水の大切さや貯水池の仕組みなども学べる、奥多摩町と共同で運営する施設です。

一般的な浄水処理の仕組み

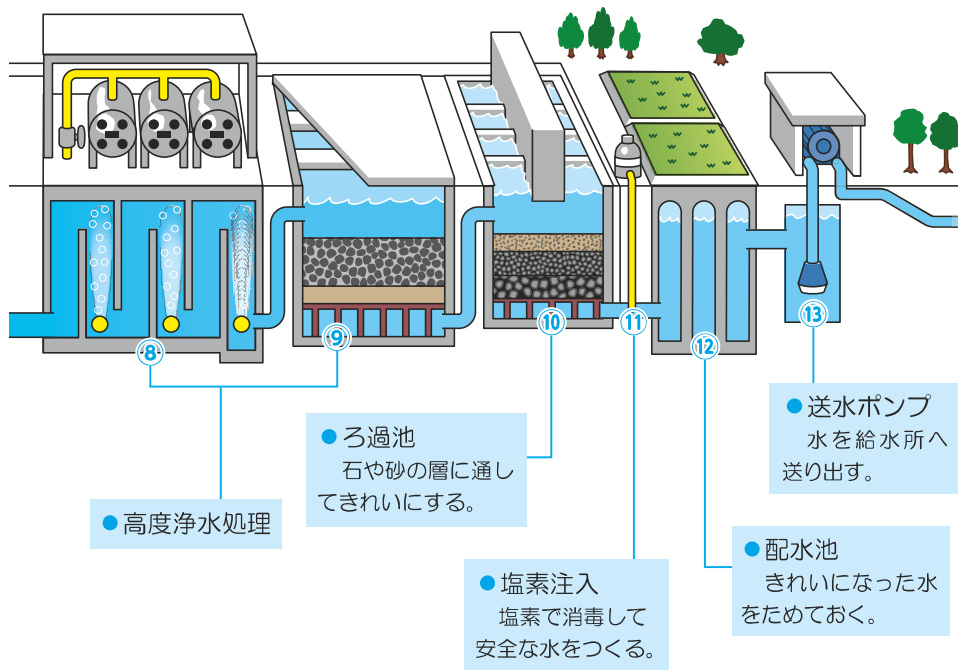
浄水場は、川から取り入れた水（原水）を、安心して飲める水道水にするところです。

水道局では、水質基準をクリアした安全な水道水をお届けするために、凝集沈殿、ろ過及び消毒という3段階の浄水処理を行っています。



●高度浄水処理 (8⑨)

原水となる川の水によっては、通常の浄水処理だけでは、においのもとを完全に取り除くことができません。そこで、においのもとを取り除くことができる高度浄水処理を導入し、より一層安全でおいしい水をつくっています。



ホームページに、高度浄水処理に関する動画を掲載しています。是非御覧ください！
<https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/kouhou/eizo/shokai.html>

